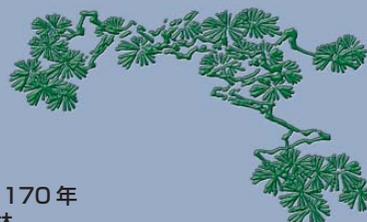


吹上浜



- 所在地／いちき串木野市、日置市、南さつま市
- 規模／幅 0.5～2.6km、長さ 28km、面積 1,400ha、樹齢 1～170年
- 指定／県立自然公園、飛砂防備保安林・潮害防備保安林・保健保安林
- 問合せ／いちき串木野市産業建設部農政課農林係 電話 0996-32-3111 / 日置市産業建設部農林水産課林務係 電話 099-273-2111 / 南さつま市産業振興課水産林務係 電話 0993-53-2111



立地環境

東シナ海に面する薩摩半島の西海岸。いちき串木野市、日置市、南さつま市にまたがり、弦月状に延々と連なる大砂丘上にあります。

松原の今昔物語

日本三大砂丘の1つであり、キャンプ場が各所に開かれ人々で賑わう

延宝2(1674)年の大火により吹上浜一帯は森林が焼き尽くされ、毎年吹き上がる飛砂により内陸の田畑は埋め尽くされてしまいました。そのため、薩摩藩は飛砂対策に潟取締役を置き、竹垣を作り植栽をする努力を続けていましたが、強風などで荒れ果てた砂浜のままでした。

文久2(1861)年農民の苦しみを見かねた宮内善左衛門は砂浜に移り住み私費まで投じて植林に全力を捧げ、この情熱と努力が実って次第に吹上浜を荒廃から立ち直らせ延々と続く松林が育ち始めました。

その後、藩から県へ、そして明治30年からは国に移管され、本格的な砂丘造成を開始。昭和初期には現在の日本三大砂丘の一つと称される美しい吹上浜の基礎を築きました。

現在、吹上浜は県の重要な観光資源であり、その砂丘の背後にある松林は住民の生活を守るとともに砂丘の景勝を形成する上で大切な役割を果たしています。



COLUMN

吹上浜の砂上にはハマユウやハマグルマが咲き、夏にはキャンプ場が開かれます。当海岸は、毎年5～7月にかけ50頭近くのウミガメが産卵のため上陸。東シナ海に注ぐ万之瀬川河口には、多くの水鳥が羽を休める光景が見られます。世界絶滅危惧種に指定されているクロツラヘラサギが見られる貴重な場所でもあります。薩摩半島の西側に位置し東シナ海に面していることから、海へ沈む美しい夕日を見るポイントにはこと欠きません。

ACCESS

●電車やバスの場合

JR 鹿児島本線伊集院駅～日置市吹上町(30分)～南さつま市金峰町(45分)
JR 鹿児島中央駅～日置市吹上町(60分)
～南さつま市加世田(75分)

●車の場合

県立吹上浜海浜公園：指宿スカイライン「谷山」I.C.から県道20号線で加世田市方面へ30分、駐車場有り
吹上浜公園：JR 鹿児島本線伊集院駅から30分、駐車場有り

